

# 検証・浦和電車区事件の真実 No. 18

民主化闘争情報 [号外] 2008年5月26日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合)

## 第18回 尊厳や人格を否定する東労組

2001年2月13日から16日まで4日連続で、7回も続けられたY氏(当該事件被害者)に対するJR東労組浦和電車区分会の臨時職場集会での執拗な糾弾。勤務と集会で意識が朦朧となり、運転でミスを起こしかねないと思ったY氏は、自己防衛のために、15日以降、東労組からの糾弾の様子をICレコーダーに録音することを決意した。

そして、2月15日の午前・午後の集会は、従来と同じように、浦和電車区3階の講習室で行われた。この日は、司会の上原、大澗、斉藤各被告、分会役員のDら約20名が参加していた。また、16日の午前・午後の集会も同様であり、上原、小黒、斉藤の各被告や分会役員のDら約15名が参加していた。Y氏はICレコーダーで集会の内容を録音した。

### 人間じゃない！クズだ！卑怯だ！どす黒い人間だ！

ここで、東労組が「話し合い」と弁明する集会での彼らの「発言」のほんの一部を紹介したい。人間の尊厳や人格を否定する下品な内容には呆れるばかりだ。Y氏は、各集会で1時間半ずつ、のべ10時間半も、多数から繰り返し罵詈雑言を浴びせられ続けたのである。

「JRにいられないよ。申し訳ないで済む問題じゃないんだけどね」

「この会社にいる必要はない！全体的に認められないんだ、俺は。話にならないよ。そしてたらもう、きちんと態度で示すのが当たり前だろうよ！」

「こういう時ね、自ら身を引くでしょう。そうでしょう」

「どう責任取る、説明してよ？ごめんなさいで終わりか。責任だよ。いい大人が何かの行動してさ、迷惑掛けたからごめんなさいで終わり？責任とるんだらう、あんた！」

「やってんじゃねえか。組織破壊行為やってんじゃねえかよ！」

「人間的にどうしようもねえやつだ！」「人間じゃないよ、おまえ！」

「クズ、おまえ本当にクズだ、クズ！」「卑怯だよ、おまえは！」「どす黒い人間だ！」

「冗談じゃねえよ、馬鹿野郎！」「おまえ馬鹿だな、嘘つきだぞ、おまえ！」

「組合が勝ち取ったものをただで横取りしている泥棒だ！」

「組合を辞めるということは。組合の成果を横取りすることになるんだぞ。おまえ、そんなにいいのか！」

「組合のおかげでなれた主任の資格を、おまえ、どうするんだ！」

「組合を辞めて組合員と口をきけない状態で、おまえ、主任職でどうやって後輩を指導するんだ。そんなんだったら、主任の資格を返上しろ！」

「組合を辞めて、それで責任取ったことになんのか！」

「いつ脱退すんの、今日？」「辞めたらいいぜ！」「決着つけるよ、ここで」

「やめちまえ、馬鹿野郎！」「普通は会社にいられるか！」

責任をとるべき“いい大人”とは、自分たちではないのか。(次号に続く)